

令和 2 年

第 5 回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和2年第5回仙北市議会定例会 市政報告

令和2年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、新型コロナウイルス感染症対策等、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策関連についてです。

新型コロナウイルス感染症対策について、5月25日、国では緊急事態宣言を全国で解除することを発表しました。これを受けて、秋田県では、県外との往来の自粛については5月31日で終了するとしているものの、北海道、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県との往来は、6月18日まで自粛することを呼びかけています。また、観光に関しても6月18日までは県内観光にとどめることを要請しています。

こうした状況を踏まえ、6月1日に開催した市の対策本部会議では、一部県外への移動の自粛や密閉、密集、密接の3つの密を避けることなど、基本的に国、県の方針に沿って感染拡大防止に引き続き取り組んでいくことを確認しました。また、不特定多数の人が訪れる公共施設については、5月31日まで休館・休止にしていたが、6月1日からは感染防止策を講じた上で、一部を除いて施設を再開しています。

◇新型コロナウイルス感染症防止対策物資の寄附について

県内の事業所及び国外からマスクなどの感染予防物資の寄附をいただきました。

4月13日、大仙市大曲の鍼灸整骨院 絆（きずな）院長 佐藤拓朗（たくろう）氏よりマスク製作用不織布ガーゼ2000枚をいただき、教育委員会を通じて市内小中学校の児童生徒に配布しています。

また、5月15日には、秋田市の加藤建設株式会社様よりマスク

1,000枚、5月25日には、仙北市田沢湖出身の石郷岡篤（あつし）氏よりマスク6,600枚、6月1日には、台湾台北市温泉発展協会理事長 周水美氏よりマスク400枚、6月3日には、一般社団法人日中一带一路（にっちゅういったいいちろ）促進協会理事長 高邑勉（たかむら つよむ）氏よりマスク5,000枚をいただきました。これらのマスクは市内の妊婦さんや市内障がい者福祉施設等への配布を予定しています。

皆様から寄附いただいた物資は、感染予防対策に最大限活用させていただきます。厚く御礼を申し上げます。

◇特別定額給付金事業について

5月13日から受付を始めた特別定額給付金は、5月15日から指定された口座に振込を開始し、6月3日現在の受理件数が、10,575世帯中10,420件となっています。口座振込件数は、6月4日振込分まで10,393件で、98.3%の支給率となっています。まだ申請されていない方については、福祉事務所など関係機関と連携し、ご自宅に伺い申請手続きの補助をするなど、きめ細かな対応に努め、速やかな申請が行われるように取り組みます。

◇福祉関係の生活支援について

生活費用等の貸し付けや総合的な支援については、市社会福祉協議会が窓口を設置しているほか、同協議会内に「仙北市自立相談応援センター」を設置し、市と連携して生活困窮者にかかる自立相談支援業務を行っています。相談件数は例年に比べ、3倍程度増えている状況です。

また、一定期間の家賃相当額の支援を目的とする「住居確保給付金」についても、相談件数が増えていることから本定例会へ所要経費を計上しています。ご審議をよろしくお願いします。

今後、生活相談の更なる増加が予想されます。生活保護制度へのつなぎと併せて適切な対応に努めます。

◇第1次経済支援対策の状況について

新型コロナウイルス感染症の拡大により資金繰りに支障をきたしている事業者を支援する融資制度の申請は、6月3日現在で認定件数154件、申請予定額24億5,420万円です。内訳は、セーフティネット認定件数53件、申請予定額6億2,430万円、危機関連認定件数101件、申請予定額18億2,990万円となっています。

また、市内事業者の事業継続を支援する事業継続支援金の申請状況は、6月3日現在で申請件数240件、申請額5,320万円で、内訳は、宿泊・飲食業が52件、申請額1,560万円、宿泊・飲食業以外が188件、3,760万円となっています。

なお、本事業の申請受付期間を6月19日までとじていましたが、5月分の減収に係る申請が多いと見込まれるため、6月30日まで延長することにしました。

◇第2次経済支援対策について

緊急事態宣言が解除され、段階的に行動の制限も解除されつつありますが、それに併せて、経済活動を少しずつ再開していくことが必要になっていて、本定例会に第2次の経済支援対策の関係予算を提案しています。

児童手当受給世帯に子ども一人あたり1万円の臨時特別給付金が支給される国の制度に併せて、市独自に4月1日時点で18歳未満の子どものいる子育て世代に、子ども一人あたり2万円を支給する「子育て世帯応援事業」に取り組みます。

上水道料金は、4月分、5月分の基本料金相当額を7月分、8月分で減免し、ホテル、旅館等の温泉供給料金は、4月分、5月分を減免します。また、小学校、中学校の4月から夏休みまでの給食費を減免するほか、市の公共施設の観覧料を令和3年3月まで無料とします。

市内事業者の事業継続と販売促進のため、「新規事業継続チャレンジ支援事業」と「物産オンライン販売促進事業」により新たに必要となる経費を支援します。

農家民宿への誘客促進のため、「教育旅行の農泊推進地域元気づくり事業」により、小中学校の教育旅行の誘致活動に取り組みます。

田沢湖・角館観光協会の運営支援やマスク、消毒液、防護服、フィルム等の購入による感染症対策を進めます。

このほか、事業内容を精査している段階ですが、6月3日から申し込みが始まった県で発行するプレミアム宿泊券を利用して、市独自のインセンティブを付け誘客促進を図ります。

また、同じく県事業と協調してタクシー事業者の支援を行います。

さらに、市独自のプレミアム付き商品券の発行も検討中です。その実施方法について商工会と協議を進め、市民の消費喚起を図り、地域経済の活性化を目指します。

以上の対策についての概要は、6月5日発行の緊急広報で市民の皆様へ周知することにしていきます。さらなる支援も随時検討します。

次に、一般会計補正予算（第3号及び第4号）についてです。

第3号補正の補正額は、1億1,016万9千円で、補正後の額は、243億5,216万9千円です。追加事業は子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費、仙北市子育て世帯応援事業費、水道事業会計補助金及び温泉事業会計補助金で、国及び市の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として早期に事業等を実施するため本日の議決をお願いするものです。

第4号補正の補正額は、1億3,998万2千円で、補正後の額は244億9,215万1千円です。追加事業は本庁舎等維持管理費、高収益作物関連支援事業費、新規事業継続チャレンジ支援事業費、仙北市物産オンライン販売促進事業費、田沢湖・角館観光協会補助金、災害対策総務費、仙北市学校給食応援事業費などです。第

2表繰越明許費は設定、第3表債務負担行為補正は追加、第4表地方債補正は変更です。

なお、令和元年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況をご報告します。

【総務部】

◇高齢者叙勲の叙勲受章者について

5月12日、高齢者叙勲の伝達があり、元田沢湖町議会議員の門脇和正（かどわき かずまさ）氏が、地方自治功勞により旭日単光章を受章されました。この度の受章は、永年にわたる地方自治発展のためにご尽力された功績が認められたものです。市民の皆様と共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

◇バイクによる交通死亡事故について

5月24日午前11時40分頃、田沢湖玉川字下水無（しもみずなし）地内で、秋田市在住37歳男性が国道341号を仙北市方面から鹿角市方向へバイクで進行中、対向車線側のガードレールに衝突し、衝撃で沢へ転落しました。沢から救助されたのち、仙北市内の病院へ搬送されましたが、数時間後に亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

警察をはじめ関係機関と協力し、事故防止啓発活動を実施するなどして再発防止に努めます。

【観光商工部】

◇田沢湖黒沢工業団地への植物工場の進出について

田沢湖黒沢工業団地への進出を予定している植物工場について、4月30日付で事業主体となる現地法人の設立登記を終えたとの報

告を受けています。法人の名称は「株式会社ハレタス田沢湖」で、代表取締役は吉田裕幸（ひろゆき）氏です。

また、同法人はフランチャイズ型の植物工場としてリーフレタスを主力商品として生産していく計画ですが、フランチャイズの相手先は秋田県の2カ所を含む全国5カ所で植物工場を展開している「株式会社バイテックベジタブルファクトリー」で、今後フランチャイズ契約を締結し、全面的な栽培技術指導を受けるとともに商品の全量買取と出荷先の確保等を担保に、より安全で安心な野菜の安定供給体制の構築を目指しています。

5月27日には、工業団地に隣接する中生保内集落の役員を対象に地元説明会が開催され、集落役員9人、法人から3人、市から8人が出席しました。説明会では、植物工場の概要や工場の建設スケジュール等を説明し、工場は8月上旬に着工、来年3月下旬に完成予定となっていて、来年4月の操業開始を目指しています。

集落の参加者からは、植物工場の生産の仕組みや流通についての質問があったほか、冬期対策、インフラ整備などについて意見があり、地元として植物工場の進出を期待する声が多くありました。

今回は新型コロナウイルス対策もあり、役員に限定しましたが、今後、事業の進捗状況により、集落全体の説明会の開催を検討していくことにしています。

【農林部】

◇農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員について

令和2年12月19日に任期満了となる農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員について、6月18日から7月17日までの1か月間、候補者の推薦及び募集をします。

農業委員会委員は、候補者を9月定例会に人事案件として提案する予定です。また、農地利用最適化推進委員は、現農業委員による推進委員候補者評価委員会の意見を参考に候補者を決定する予定です。いずれの委員も任期は、令和2年12月20日から令和5年1

2月19日までです。

◇水稲の春作業の状況及び令和2年産米の生産動向について

水稲の春作業については、この冬の記録的な暖冬少雪の影響で水不足が心配されていましたが、4月の雨量が多かったこともあり、農業用水が確保されました。しかし、5月に入り降雨や気温の低い日が続き、田植え作業はやや遅れていましたが、5月24日には、田植えの盛期を迎え、ほぼ平年並みの終期と伺っています。

本年産米の作付計画の集計では、昨年12月に仙北市地域農業再生協議会から、JAや集荷業者等の方針作成者に提示した「生産の目安」（15,091t）以内となっています。

一方、主食用米の作付傾向については、前年並としていることから、需要に応じた生産が一層求められます。さらに新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食等の需要が落ち込む懸念もあり、6月末の確定数値の提出時まで引き続き注視します。また、需要に応じた米生産に努めるよう関係機関と連携し啓発活動を実施します。

【建設部】

◇道路事業期成同盟会について

国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会総会、地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となりました。

両同盟会の総会提出案件は、全会員から承認をいただきましたので、要望活動を含めた事業を展開していきます。

国道105号大曲鷹巣道路の仙北・北秋田両市境の大覚野峠を含む14.3kmは、今年度国の直轄工事に関する調査費が予算化され、地元の要望を踏まえた事業化への大きな前進となりました。

今後も関係する自治体と連携し、両同盟会活動を強力に進めます。議会の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

【医療局】

◇令和元年度決算見込みについて

市立田沢湖病院は、2,302万4千円の黒字見込みです。年間を通じて一定の病床利用率を維持できたことにより、医業収益が改善したほか、職員給与費が減少したことが主な要因です。

市立角館総合病院は、1億8,810万7千円の赤字見込みです。しかし、診療単価の増による医業収益の改善や、令和元年度は大きな特別損失がなかったことから、前年度決算の約10億円の赤字から大幅な改善となる見込みです。

なお、病院の今後の経営については、もちろん新型コロナウイルス感染症対策で施設の改修や検査体制の拡充を進めますが、今後も出控えが続くことで患者数の減少が予想されます。第2波、第3波対策でも地域医療の確保は重要案件です。万が一にも経営の悪化で医療提供など停滞しないよう、関係省庁には感染者の有無に関わらず、収益減少に対する手立てをいただけるよう、様々な場面で要請活動を行いたいと思います。議会のご協力をよろしくお願いします。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は報告関係4件、条例関係12件、予算関係7件、人事関係6件、その他4件の計33件です。

慎重審議の上、全議案についてご可決を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とします。